

Nara National Museum

奈良国立博物館

だより

第 **109** 号

2019年 4・5・6月



©地蔵菩薩立像 快慶作 (大阪 藤田美術館)

特別展

国宝の殿堂
藤田美術館展
曜変天目茶碗と仏教美術のきらめき
4月13日(土)～6月9日(日)
東・西新館

わくわくびじゅつギャラリー

いのりの世界のどうぶつえん
7月13日(土)～9月8日(日) 東新館

特別陳列

法徳寺の仏像
-近代を旅した仏たち-
7月13日(土)～9月8日(日) 西新館

名品展

珠玉の仏たち
通期開催
なら仏像館

中国古代青銅器
通期開催
青銅器館

■「仏教美術にみる動物のすがた」

奈良国立博物館では、この夏、わくわくびじゅつギャラリー「いのりの世界のどうぶつえん」を開催します。仏教美術や原始・古代の祈りの造形に表された動物の魅力を広く紹介する本展覧会に関連して、今回の夏季講座では、動物表現をとまなう仏教美術をテーマに取り上げ、様々な研究分野の第一線でご活躍の先生方をお招きし、ご講演をいただきます。

- 【開催日】 8月21日(水)～23日(金)
- 【主催】 奈良国立博物館
- 【会場】 奈良春日野国際フォーラム
 薨～I・RA・KA～ 能楽ホール
 (近鉄奈良駅から徒歩約20分)
 ※昨年と会場が異なります。
- 【受講料】 3,500円(会場費、テキスト代を含む)
- 【定員】 450名
 ※会場の変更に伴い、昨年と異なります。
- 【応募方法】 往復はがきまたはホームページ応募フォーム

◆往復はがきの場合

往信用はがきに「夏季講座参加希望」とご記入の上、
 [①氏名 ②ふりがな ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号
 ⑥性別 ⑦年齢]を明記してください。返信用はがきにはご自身の宛名・住所を明記してください。
 申込先: 〒630-8213 奈良市登大路町50
 奈良国立博物館 学芸部教育室

◆ホームページ応募フォームの場合

当館ホームページの夏季講座専用応募フォームから必要事項をご記入の上お申込みください。

- 【受付期間】 5月13日(月)～6月3日(月)必着
 (ホームページは5月13日(月)午前10時～6月3日(月)午後5時)
- *応募はいずれかの方法で、お1人様1回でお願いいたします。
- *受付期間外のお申込みは無効とさせていただきます。
- *応募多数の場合は抽選となります。
- *6月14日(金)までに返信用はがきまたはメールにて受入の可否、及び受講料の振替口座をお知らせいたします。

◆特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」にて4月13日から6月9日まで展示
 (当館学芸部主任研究員 山口隆介)

重要文化財 地藏菩薩立像
 鎌倉時代(十三世紀)
 大阪 藤田美術館

【表紙写真解説】
 彩色に截金を混じえた多彩な文様が目を引く像で、足柄に「巧匠法眼快慶」の墨書がある。壮年期の快慶が制作した東大寺地藏菩薩像に比べて体軀の量感は減じられ、着衣の衣文線を増やすとともに衣縁を装飾的に波打たせるなど、繊細な趣に快慶晩年期の作風がうかがえる。かねてより興福寺伝来とされてきたが、明治三十九年(一九〇六)に同寺境内で撮影された仏像写真(興福寺蔵)に本像が確認され、たしかな根拠をもつ伝承であることが明らかとなった。藤田美術館のコレクションのなかでも屈指の美しさを誇る品である。

快慶作
 像高五八・九
 鎌倉時代(十三世紀)
 大阪 藤田美術館

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通(つう)」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加ください。

■4月21日(日) 「仏像の『かざり』をめぐって」

三本 周作(当館学芸部研究員)

ほとけのきらびやかな姿を演出する仏像の「かざり」。普段の拝観ではあまり注目されない「かざり」ですが、実は仏像研究の上でも重要な情報を含んでいることを、いくつかの観点から紹介します。

■5月19日(日) 「古代寺院の堂内荘厳」

萩谷 みどり(当館学芸部研究員)

古来、仏堂の内部は、浄土の光景を表現すべく美しく飾られました。なかでも壁画や、柱や天井などの部材に施された彩色に注目し、古代寺院において、堂内がどのように荘厳されていたのかをご紹介します。

■6月16日(日) 「古神宝の世界」

清水 健(当館学芸部工芸考古室長)

神社には、古来多種多様な品々が神宝として捧げられました。それらの一部は今日古神宝と称され、大切に守り伝えられています。古神宝の種類や意匠、造形的な特色についてご紹介致します。

■7月21日(日) 「再び、空海の舍利信仰の源流について

—スリランカから東寺まで—

内藤 栄(当館学芸部長)

唐から帰国した空海は日本に新しい舍利信仰をもたらしました。空海の舍利信仰は唐に源あり、と言いたいところですが、さすが唐は国際国家。空海の師匠たちはスリランカに旅し舍利法を学びました。空海の舍利信仰の原点に迫ります。

■8月18日(日) 「文化財を科学するVI」

鳥越 俊行(当館学芸部保存修理指導室長)

博物館では、展示に合わせていろいろな調査を実施しています。今回は、「法徳寺の仏像」展で実施した彫刻作品の調査を中心に、最新の成果をお話します。

■9月15日(日) 「平安時代の寺社参詣」

齋木 涼子(当館学芸部主任研究員)

平安時代の人々にとって、寺社はどのような存在であったのか。寺社への参詣という行動を通じて、人々の信仰の一端を垣間見ます。

【時間】 各回とも14:00～15:30 (13:30開場)

【会場】 当館講堂

【定員】 各回194名(先着順)

- *聴講無料(聴講には入場整理券が必要です)
- *当日12:30から当館講堂前にて入場整理券(お1人様につき1枚)を配布します。
- *入場受付はトーク開始後30分で終了いたします。

◆「奈良博プレミアムカード」
 「国立博物館メンバーズパス」のご案内

平成29年4月より、当館を今まで以上に楽しみいただける「奈良博プレミアムカード」「国立博物館メンバーズパス」を販売しております。

詳しい情報は、当館ホームページをご覧ください。当館観覧券売場へお問い合わせください。

